

定例公安委員会開催状況

令和元年6月27日（木）

静岡県警察みらい創造計画の推進状況について（警務部）

警務部長から、

静岡県警察みらい創造計画の推進状況について、現況及び目標は、

- 女性警察官の割合
9.90パーセント（H31.4.1現在）、目標はおおむね10パーセント
- 警部に占める女性警察官の割合
2.34パーセント（H31.4.1現在）、目標はおおむね3パーセント
- 男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加休暇の取得率
85.9パーセント（H30年中）、目標は100パーセント
- 夏季休暇の平均取得日数
4.9日（H30年中）、目標は5日完全取得

であった。

平成30年度の主な取組状況については、

- 働き方改革
 - ・ 部外講師による幹部向け意識醸成講演会、担当者向け実践的手法研修会の開催
 - ・ 業務の合理化・効率化（庶務事務の統合運用、集中護送の休日運用）
 - ・ 時差勤務の試行
- 優秀な職員の採用～静岡県警察の魅力をアピール
 - ・ 女性リクルーターの増員
 - ・ 女性職員業務紹介パンフレット「静警女子」の作成
- 女性職員のキャリア形成支援
 - ・ メンター制度の運用（メンター：女性警部・警部補、メンティー：若手昇任女性巡査部長等）
 - ・ キャリアアップ講演会の開催（昇任予定者、採用15年目・20年目女性職員対象）
 - ・ キャリアデザイン教養の実施（採用5年目・初任補修科生）
 - ・ 女性の職域拡大に向けた人事配置（本部地域課補佐、署生活安全課長等）
- 育児や介護等と両立しつつ組織で活躍できるための取組
 - ・ 任期付短時間勤務職員制度の拡充（任用範囲を警察官のみから警察行政職員まで拡大）
 - ・ 育児休業中の職員に対する復職支援教養の実施（夫婦参加型の研修会・意見交換会）
 - ・ 介護制度、男性職員の育児のための勤務・休暇制度等を機関誌・部内広報紙に掲載
- 安全で安心して子どもを育てられる社会の実現に向けて
 - ・ 広報イベント、コンサート等の実施（夏休み子供探検隊、ミュージックパトロール）

ール)

- ・ 警察署等の建替えに合わせ、多言語表記やピクトグラムを用いた案内標識を掲示である。

当面の課題として、女性警察官の割合が9.90パーセントと目標数に近づいていることから、女性警察官の割合等の目標値について、見直しの検討を行っていく。

旨の報告を受けた。

-
- ◇ 委員から、「女性警察官が増えているが、現場執行力維持の面で対策は。」との質問があり、警察学校長が「女性警察官は、男性警察官と同様の術科訓練を行っている。その他女性に特化した訓練として、性差に基づく腕力等の違いを体感させる訓練や、交番で勤務中に襲撃を受けるといった想定訓練も行っている。」旨説明した。

苦情・相談取扱状況（5月中）について（警務部）

首席監察官から、

5月中の苦情受理状況については、公安委員会宛て2件、警察宛て7件を受理し、その処理状況については、受理した9件のうち2件の調査が終了し、いずれも適切な職務執行であった。

5月中の相談受理件数は、速報値で2,540件であり、前年同月比でマイナス503件となっている。

旨の報告を受けた。

死亡ひき逃げ事件の発生・検挙について（交通部）

交通部長から、

事件概要については、被疑者が十字路信号交差点を直進する際、被害者と衝突し逃走したものであり、

○ 発生日時、場所等

令和元年6月17日（月）午前2時30分頃

富士市柚木先信号交差点 県道

○ 被疑者等

普通貨物自動車運転

富士市松岡在住 飲食店経営 65歳 女

※ 令和元年6月17日午後4時46分、富士警察署において過失運転致死、道路交通法違反（救護措置義務違反等）により通常逮捕

○ 被害者

歩行者

富士市柚木在住 会社員 34歳 男性

である。

旨の報告を受けた。

死亡ひき逃げ事件の発生・検挙について（交通部）

交通部長から、

事件概要については、被疑者が片側一車線道路を進行中、前方で自己転倒した被害者を轢過し逃走したものであり、

○ 発生日時、場所等

令和元年6月19日（水）午前9時40分頃

島田市旭一丁目先路上 主要地方道

○ 被疑者等

普通乗用自動車運転

静岡市葵区北安東在住 会社員 45歳 男

※ 令和元年6月19日午後9時47分、島田警察署において過失運転致死、道路交通法違反（救護措置義務違反等）により通常逮捕

○ 被害者

自転車運転

島田市東町在住 無職 当時87歳 男性

である。

旨の報告を受けた。

令和元年夏の交通安全県民運動の実施について（交通部）

交通部長から、

令和元年7月11日（木）から7月20日（土）までの10日間、「安全をつなげて 広げて 事故ゼロへ」をスローガンとして、以下のとおり令和元年夏の交通安全県民運動を実施する。

○ 運動の重点

- ・ 子供と高齢者の交通事故防止
- ・ 自転車と二輪車の安全利用の推進
- ・ 飲酒運転の根絶
- ・ 各市町交通安全対策協議会等が決定した事項の推進

○ 期間中の主要行事

- ・ 運動初日広報・街頭指導の日
7月11日（木）
- ・ 子供と高齢者の交通事故防止の日
7月16日（火）
- ・ 飲酒運転根絶の日
7月19日（金）

○ 安全運動出発式の実施

- ・ 日時
令和元年7月10日（水）午後4時00分から（おおむね20分）
- ・ 場所
静岡市葵区 静岡県庁本館玄関前
- ・ 主な出席者
副知事、公安委員会委員長、警察本部長、県くらし環境部県民生活局長、静岡県交通安全協会会長、静岡県安全運転管理協会会長

である。

その他期間中、交通部5課による交差点活動及びパトカーによるレッドパトロールを実施する。

旨の報告を受けた。

第52回交通安全子供自転車静岡県大会の開催結果について

(交通部)

交通部長から、

第52回交通安全子供自転車静岡県大会は、令和元年6月15日(土)午前8時45分から、静岡市葵区駿府町 静岡市中央体育館において、30チーム(1チーム4人:計120人、交通安全協会各地区支部からの代表小学校及び前回優勝校)が参加して行われた。結果は

- 団体の部
優 勝: 浜松市立平山小学校
準優勝: 浜松市立三ヶ日西小学校
第3位: 吉田町立住吉小学校
- 個人の部(いずれも浜松市立平山小学校)
優 勝: 樋田 栞奈(といだ かな)
準優勝: 藤田 七虹(ふじた なこ)
第3位: 藤原 理煌(ふじわら りき)

であった。

団体の部で優勝した浜松市立平山小学校は、8月7日(水)に東京都で開催される全国大会に出場する。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「地区ごとの参加状況や取組姿勢はどうか。」との質問があり、交通部長が、「地域によって自転車の利用状況が異なったり、地区ごとに予選会を開催するなど温度差がある。」旨説明した。

7月中の警察学校主要教養計画等について(警察学校)

警察学校長から、

7月中の警察学校の入校者数は、初任科短期課程77人、初任科長期課程96人、初任補修科長期103人及び初任補修科短期43人の合計319人、うち45人が女性となる。

主要教養計画は、地域部長訓育(9日)、実務研修(8~12日)、介護研修(22、24日)、健脚訓練(19日)、富士登山訓練(25日)、初任補修科長期生卒業式(23日)、初任補修科短期生入校式(29日)である。

トピックとしては、6月5、6日に社会見学を行っている。

旨の報告を受けた。